



平成26年 第2回定例会 ②

一般質問に8人 ⑥

防災計画、読書科など視察 ⑬

ようこそ、宇多津町へ ⑱

「応援しようでえ〜、宇多津っ子」 ⑲

平成26年 第2回定例会



議員は全員アロハシャツ姿で

平成26年第2回定例会は6月4日から6月12日まで開催し、議案7件、報告2件、同意1件、陳情1件を審議し、全て原案を可決し、報告等を承認しました。また、一般質問は土曜議会（アロハ議会）として6月7日に行い、議論を交わしました。

主な内容

補正予算

平成26年度一般会計補正予算（第1号）

（975万円）

全会一致で可決

〈増額〉

- ・観光振興事業費
- ・防災対策費補助金
- ・防災施設費

〈減額〉

- ・非常備消防活動費

平成26年度宇多津町水道事業会計補正

予算（第1号）

（74万円）

全会一致で可決

条例改正等

宇多津町税条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

（要旨） 地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、町税条例を改正するため。平成27年度分から、原付、軽二輪及び小型二輪の標準税率を約1.5倍（最低200円）に引上げ、軽四輪車等（三輪以上の軽自動車）及び小型特殊自動車の標準税率を、自家用車にあつては1.5倍、その他の区分の車両にあつては約1.25倍に引上げることによる改正。

・宇多津町乳幼児医療費助成に関する
・ひとり親家庭等医療費支給に関する
・重度心身障害者等医療費支給に関する
条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

（要旨） 平成26年8月から現物給付の対象となる医療機関等を県下全域に拡大し、その審査支払事務を香川県国民健康保

険団体連合会及び香川県社会保険診療報酬支払基金に委託するために改正。

町道路線の廃止について

全会一致で可決

(要旨) 安達川から大東川の東まで県に移管され、浜街道全線が県道となる。

平成26年 第1回臨時会 5/30

宇多津町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例

宇多津町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

共に賛成多数で可決

(要旨) 公金紛失により生じた町の損害について、6月1日から7月31日の間給与及び期末手当を減額し、損害を補てんする。町長は140万円、副町長は50万円、教育長は10万円。

(賛成理由) 自主的に損害補てんをするのなら問題はない。
 (反対理由) 専決処分で管理責任をとっているもので、補てんをする必要はないのでは。事務処理のあやまりがあるのなら、監督者が払うべきではないし、議会は法律を守るべきである。また、すぐに補てんするという前例ができる。

本会議 議員の賛否

第2回定例会

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 (議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する)

主な審議案件		西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
議案	平成26年度宇多津町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成26年度宇多津町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町乳幼児医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町重度心身障害者等医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○
報告	平成25年度宇多津町一般会計繰越明許費計算書	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成25年度宇多津町水道事業会計予算繰越計算書	○	○	○	○	○	○	—	○	○
陳情	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	—	○	○

第1回臨時会

議案	宇多津町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	—	×	○
	宇多津町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	—	×	○
承認	宇多津町税条例の一部改正の専決処分	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	○	○	○	○	○	○	—	○	○

防災ラジオが入荷待ち

「総務建設常任委員会」の担当課は
出納室、総務課、危機管理課、まちづくり課、税務課、地域整備課、水道課です。

観光振興事業費の補助金

県から市町地域づくり促進事業費として、交流人口及び定住人口促進のために200万円が補助される。イベント費や古街の家のPR費として使用される予定である。

まちづくり課

防災対策費の補助金

防災ラジオ370台分を追加購入する。既に290台の予約が入っている。町民は1台3,500円で購入できる。自主防災組織が購入すれば、代金の1/2の金額が補助金として自主防災組織に返金される。その補助金で単位組織で必要な資機材を購入して頂きたい。耐用年数は10年。

危機管理課

軽自動車税の見直し

平成27年度分から、原付、軽二輪及び小型二輪の標準税率を約1.5倍に引上げる。また、乗用軽自動車を7,200円から10,800円に、営業用を5,500円から6,900円に引上げる。

税務課



宇多津町の防災ラジオ

自治会連合会防災訓練に議員も参加

宇多津町議会では、平成24年に議会の災害対策マニュアルを定めました。

そうしたことから、私たち議員も自助・共助に役立てるよう、今回の自治会連合会防災訓練に参加しました。AED講習は勿論、車いすの介助体験、けが人の搬送や応急手当など、非常時に役立つものが多くありました。

これからもこうした機会には積極的に参加し、一人ひとりが防災意識を高めていけるよう、さらなる資質の向上を目指します。



揃いの防災服を着た議員



けが人の搬送体験

医療費の助成が手厚くなりました

「教育民生常任委員会」の担当課は
教育委員会（学校教育課・生涯教育課）保健福祉課、健康増進課、住民生活課
などです。

乳幼児医療費

県下全域の保健医療機関で現物支給（窓口で支払いの必要なし）を実施している。

但し、県外の場合は立替え払い、後日清算となる。

保健福祉課

ひとり親家庭等医療費

所得制限はあるが、保険証とは別に受給資格証を発行している。それを医療機関に見せれば、支払いの必要はない。町内の対象者は、親子合わせて約700人。

保健福祉課

重度心身障がい者医療費

8月1日から現物支給の対象となる。認定者数は445人で増えていない。香川県は1級～3級だが、本町は4級も認定しており、県よりは手厚くなっている。

保健福祉課



委員会でも環境に配慮し、アロハシャツを着用

給食センターに行ってきました

宇多津町給食センターでは、毎日約2,000食の給食を作っています。徹底した衛生管理、食品管理のもと、手際よく給食が作られていきます。最近では様々なアレルギーを持つ子どもが増えています。給食センターでは細心の注意を払い、それぞれの子どもに応じたアレルギー対応食を作っています。栄養価は勿論、子どもたちにも美味しいと評判の給食は残菜も減ってきており、宇多津っ子の健康を支えています。



食材を受け入れるブース



アレルギー対応食の一覧表



各クラスの容器に分けるスタッフ



池田 弘昌 議員

ビブレの再開発と固定資産税

ビブレの再開発と

固定資産税について

住宅の減免・減額措置の拡大は難しい／税務課長
 企業誘致の対象地域の変更も検討したい／町長

問 閉店した宇多津ビブレの新たな複合商業施設としての再整備について。定住人口増加と子育て支援策のため、また町内の空き家対策として10年後に人口2万人の目標に向けて新築に対する減免や中古住宅への拡大を検討しては。企業誘致条例を全町内に拡げては。

かかる減免・減額措置の拡大は、税制上実施することは難しいため、考えていない。地域の変更を含め検討、整備をしたいと考えているところである。

谷川町長 現在、町の企業誘致条例の適用を受ける地域は、番の州地域と新宇多津都市の2か所である。宇多津町は交通アクセスもよく、光ケーブルも全域に網羅されているため、IT企業やベンチャー企業なども町の全域が誘致可能な地域

馬場税務課長 新築に対する減免措置や中古住宅等に

馬場税務課長

新築に対する減免措置や中古住宅等に

業やベンチャー企業なども町の全域が誘致可能な地域



取り壊し中の宇多津ビブレ

鴨田川の改修

鴨田川の改修について

親水性のある環境整備はしない
 ／地域整備課長

と中村地区排水機場の整備を。

松井地域整備課長 鴨田川

は親水性のある水辺環境を確保できるほどの規模の川ではないと考えている。また、ゲリラ豪雨などで一気に水かさが増し、危険な状態になる可能性もある。よって現時点では内堤防側には管理用の階段のみを設け、親水性のある階段等は設置しない考えである。

問 憩いの場として親しめる新たな場所として、親水性の高い潤いのある水辺環境としての整備を。集中豪雨や台風などの時、大東川との合流地点ではポンプの能力不足のために道路冠水などの被害がある。鴨田川

中村地区の排水については新たなポンプ等の設置を考えているが、設置には多大な費用の確保や管理体制の検討も必要である。町の財政部局や水利等の関係者とも協議を行い、検討を前向きに進めていきたい。



藍川 佳津樹 議員

sg商品

sg商品の現況と将来

事業が軌道に乗るまでもう少し時間が掛かると考えている／まちづくり課長

26年3月現在の参加自治体は21自治体で、25年度の売り上げは2035万5607円であった。②町の支援企業は9社で、25年度の売り上げは477万591円であった。③25年度は事務所の開設準備であり、現在も事務所立ち上げのために活動中とのことである。

宮本まちづくり課長 ①平成

問 この事業が軌道に乗れば、時期を見て運営資金は受益企業が負担するべき。そこで、①参加自治体の数と経営状況②宇多津町支援企業の売上げ③シンガポール事務所の売上げ④投資対効果の判断基準また進退の目途となる基準等について答弁を求める。



sg商品のラインナップ

④現在、参加自治体の中で宇多津町の売り上げはトップクラスであり、事業が軌道に乗るまでもう少し時間が掛かると考えている。自治体が経費をかけて特産品を販売することには抵抗があると思うが、もう少し動向を見ていただきたい。

谷川町長 企業誘致条例の誘致助成金の助成率は、周辺市町の状況を参考に改正するべく、現在内部協議を行っている。また、町には新規で大規模な事業所を誘

問 国は地域経済の活性化を重点課題として、企業誘致から持続可能な地場企業の育成にシフトを換えている。提案型の質問として、企業誘致条例を国の政策に定めるものに改定されてはどうか。

致できる更地はほとんどないのではないかと思っている。そこで企業誘致の考え方を町の実情にあったものに改正するのを感じており、現在検討しているところである。

企業誘致条例の改定

企業誘致条例の改定

条例の改正に向けて

協議中である／町長



井原 猛雄 議員

「水族館」設置

6月議会谷川町長に

「水族館」設置を要望

水族館建設・運営に向けて民間主導で
進んでいくことを期待／町長

問 昭和49年、瀬戸大橋で

塩田4割を250億円で地域整備
備公団に売買、条件で残地
はJR駅を中核的に換地し、
新都市に大型商業施設「宇
多津ビブレ」、香短大、ゴ
ールドタワー、ガラス館等
のにぎわいを決起した。

しかし、近隣に競合店オ
ープンで集客力低下、宇多
津ビブレは2月末で閉店、
その他商業施設も不安を抱
く。谷川町長はイオン複合

施設会社をお願いに行った。
26年6月より宇多津ビブレ
の店を解体、27年でイオン
新店オープン、谷川町長の
水族館併設でにぎわい再生
の町民の期待は大きいと思
われる。その見通しを伺い
たい。

谷川町長

平成25年度当初
に国の外郭団体より出資等
を受けることの出来る可能
性がある事業提案があった。

提案の内容は、臨海公園周
辺の統合的な活性化を行う
というものであり、どのよ
うな集客力のある活性化策
を実現すべきか検討するた
め、地元企業数社など民間
主導による宇多津新都市活
性化協議会が立ち上がり、

平成25年8月より協議を行
ってきた。その協議結果は
「既存施設を絡めた新規集
客施設を誘致する必要がある。
新規集客施設としては

水族館を誘致
する」という
ことであった。
課題は山積し
ているが、水
族館建設・運
営に向けて民
間主導で進ん
でいくことを
期待している。



ゴールドタワー周辺



香川短期大学と世界のガラス館



西本 祐子 議員

本の贈呈

セカンドブックやサードブックも
お願いしたい

まずは学校図書室の蔵書を充実させていきたい／教育長

合田教育長 セカンドブック、サードブックはブックスタートのフォローアップ事業として考えている。現在町では本を読む習慣をつけるべく様々な活動を行っている。提案のように小学校入学時に1人1冊を贈呈することもひとつの方法だと思うが、図書室を利用する子どもが多くなっているため、学校図書室の蔵書を充実させ、子どもたちの読

問 今年度から本町でも「ブックスタート」が始まり、3か月健診で本が贈呈される。引き続き、セカンドブック、サードブックまで拡大してほしい。読み聞かせや朝の読書を推進しているからこそ、実施を望む。

書活動を支援していきたいと考えている。

再質問 図書館で借りるのではなく、良い本を自分の本として持たせたい。

合田教育長 子ども1人にも1冊贈呈する経費を図書室にえば何十人もの子どもが読むことができる。今の段階では図書室の本を充実させたほうが良いと考えている。



ブックスタートで本を読んでもらう赤ちゃん

観光協会活用

観光協会をどう活用していくのか

将来的には検討が必要／町長
交流人口の創出に力を注ぐ／まちづくり課長

問 今年度、観光協会は商工会の手を離れ、町のまちづくり課に設置された。交流人口を増やし、定住人口につなげるために、アロハナイト、収穫祭、おひなさんなどのイベントを活用することが大切だが、今後の観光行政、観光協会のあり方について伺いたい。

谷川町長 今の時点で観光協会の事業はなく、今年度は事務局が移管されたばかりであり、事業の計画などは行っていない。事務局は当面町のほうでの担当を考

えているが、将来的には検討の必要性を感じている。

宮本まちづくり課長 昔も今も実質的には町が観光行政を行っており、新たに独立させる気はないが、今後場合によっては検討したい。また、交流人口の創出に力を注ぐのが町の観光行政として最良の手段だと考えている。町の強みは交通の利便性と社会資本を活用したイベントであり、交流人口を創出し、魅力ある町を作ることと定住する人も増えると確信している。



濱中 保夫 議員

宇多津町の職員数

宇多津町の職員数は適切か

できるだけ平準化した人数で

採用していきたい／総務課長

問 現在、宇多津町の職員

は122名。ここ数年、退職者に対して採用者数が少なくなっている。勿論、町の職員採用は行政改革の論理として、効率性重視を考えていると思われるが、人員的には多く採用しているとは考えにくい。町条例では職員数は136名と決められている。これからの職員採用は退職者数と同じか、少しでも増やす考えはあるのか。

亀井総務課長 退職者の数

は年度ごとに大きな開きがあり、退職者数に連動して採用者数を大きく変動させていることは望ましくないと考えている。今後の採用方針として正規職員数の抑制を図ることを基本としつつ、事務量や現場の状況などを十分把握した上で財政面も考慮し、できるだけ平準化した人数での採用という方向で進めたいと考えている。

再質問 臨時職員が正職員

として採用されたのか。

亀井総務課長 過去に、臨

時職員で勤務していた人が採用試験に合格し、正規職員となった事例がある。



庁舎内のおようす



宇多津町庁舎



柴村 賢三 議員

道路整備計画

高架道路「県道33号線」の整備計画求める

都市計画道路全域の早期完成を目指し、

要望を続ける／地域整備課長

問 スーパーセンター南側の県道33号線は主要幹線道路として交通量も多いが高架道路のため、安全性・利便性に欠ける。安全で安心してスムーズに移動できる道路としての機能を十分に果たしておらず住民生活交流の妨げになっている。側道を通行し、住民の生活道路・通学路でもあり、飛び出しなど交通事故の危険性が高い。将来的な幹線道路整備計画の推進を県など関係機関と連携を図り、高架道路を平地道路に整備し、交通網の再生・安全・安心・効率性を高め、通行の利便性を高めることによって、道路周辺の活性化と「まちづくりの転換」を。

松井地域整備課長 県道33号線の平面化には多額の費用がかかるのみならず、既存道路の交差形状の適正化をはじめ、多くの条件を検討し、精査する必要がある。また、当該道路は都市計画道路であり、県道であることから、整備主体は香川県になるが、道路改良の時期・構造等は現在示されていない。そこで高架箇所のみならず、計画道路全域の早期完成を目指して関係機関、県などに町として要望を続けていきたい。

再質問 平地道路に整備すれば東西南北地域への利便性を高め、また、旧国鉄軌道跡地を有効活用できると思うが。

松井地域整備課長 都市計画道路全域の整備を早急に進めるよう県等に要望していきたく思っている。その中で高架部分の検討も再度お願いしていきたい。



高架になっている県道33号線

他に「雨水貯留タンクの設置に助成制度の活用」について質問した。



宮本 隆 議員

南部地区道路整備

宇多津町南部地区道路整備

構想図の見直しは

当該整備計画に沿った整備を行う

地域整備課長

問 日本の人口減少が加速するが、宇多津町は平成35年人口2万人を目指している。

人口増になるには若い世代の定住人口増加が必要であり、そのためには南部の宅地開発が必要である。ぜひ、道路整備構想図の再検討をし、早急に道路整備を実施していただきたい。

松井地域整備課長 当該整備計画は4つの視点を念頭

備計画は4つの視点を念頭

に策定されている。①既存の幅員4m以上の道路を活用して道路網の構成が図れるよう配慮する。②各宅地から2方向避難など災害時、緊急時の安全性やライフラインの効率化が図れるよう、行き止まり道路を解消する。③各土地権利者間で不公平が生じないように、極力地区内均一なバランスで配置する。④不整形農地が集積する箇所では、区画整理などの導入を検討する。以上



整備が進まない道路

公共下水道整備

下水道供用区域の未水洗化対応は

水洗化率の向上を図るよう努力する／水道課長

道への切り替えをどのように促していくのか。

松本水道課長 法的には遅滞なく汲み取り便所等は水洗にすることとなっている。

問 宇多津町では482haの公共下水道整備を進めている。下水道普及率は90%と県下でトップクラスであり、供用区域内の水洗化率は89%であるが、今後約10%の未水洗化世帯に対し公共下水

の調達が困難、世帯の形態等の要因で未水洗化世帯は存在する。資金面では水洗便所への改造資金を無利子で融資あっせんする水洗便所改造資金制度、改造工事費を助成する排水設備設置費助成金制度での援助をしている。また、説明会などの場を利用して水洗化のお願いをしている。今後、文書の送付や個別訪問等で未水洗化の理由を個別具体的に把握し、要因に応じた助言、フォローアップを行うことで、水洗化率の向上を図るよう努力したい。



大松 喜次郎 議員

地域包括支援センター

地域包括支援センターを身軽にできないか

現在、事業の委託を進めている／保健福祉課長

身軽にする方法として、事業の委託を進めており、平成24年度は6事業所に22件、平成25年度には9事業所に40件を委託している。

問 団塊の世代がまもなく高齢者になるし、介護予防に軸足が移ることを考えると、現体制では限界がくる。今でも専門職の不足を聞くがどう対応していくのか。また、身軽にする方法はあ
高瀬保健福祉課長 専門職職員の不足は複数の資格を持つ者の雇用や現職員の資格の追加取得によって弾力的な運用が可能になると考えている。

また現時点で社会福祉協議会にはケアマネジメント事業を22件委託している。

再質問 ケアマネージャーを中途採用すべきでは。また、外部へ委託できないか。

高瀬保健福祉課長 一昨年、社会福祉協議会からの派遣という形で社会福祉士とケアマネージャーの資格を持つている者を採用している。また、業務の外部委託も実施している。



介護予防教室のようす

町の防災計画

いつ町の防災計画がまとまるのか 県地域防災計画の見直し完了後、 改めて見直したい／危機管理課長

問 地震時の被害想定を変更したが、いつ備蓄マニュアルがまとまるのか。自主防災組織資機材整備事業の補助金制度があるが、備蓄購入の利用はどうか。それか、2か所ある指定津波避難ビルについての食料や飲料水などの備蓄をどのようにするのか。

では、18の自主防災組織が非常用持ち出し袋などを購入し、12組織が購入予約をしている。指定避難ビルのホテルサンルート、宇多津駅は備蓄場所の確保が難しかったため、非常持ち出し袋などを持参の上、避難をお願いしたいと考えている。

再質問 避難ビルには備蓄のない人もいるが。

三芳危機管理課長 町で分散備蓄してある食料を、地震等が収まった際に持つていく考えである。

三芳危機管理課長 平成26年秋ごろ予定されている県地域防災計画の見直し完了後、改めて町防災計画を町緊急備蓄マニュアルとあわせて見直したいと考えている。補助金の利用状況とし

防犯カメラも、むなしく

北小校区の遊歩道の庭園灯（ローポール）は、昨年1年間で30個以上破壊され、平成23年以降で100個も破壊されています。

そこで昨年度末に、防犯カメラを設置することになりました。

テレビで報道されたこともあり、しばらくは効果があったかに見えました。しかし、今年4月からわずか3か月のうちに、既に20個が破壊されるという深刻な事態に陥っています。今、犯人を捜査中ですので、何か情報がありましたら「地域整備課」までご一報ください。

しかし、ここまできると修理代がかさむ一方……。モラルの低さを嘆くよりは、庭園灯自体を石などの固いものに変更していくなど、ほかの対策を考える必要があるかもしれません。



無残に破壊された庭園灯

宇多津ビブレはイオンタウンに

今年2月に閉店した宇多津ビブレ跡地に、同じイオングループの企業が、スーパーを核とした複合施設を作る方針であることが分かりました。

宇多津ビブレは1994年に開業。各種専門店と食料品売り場を備え、シネマコンプレックス（複合型映画館）やホテル、プールを併設し、宇多津町臨海地区の賑わいの中心としての役割を担ってきました。

しかし、小売業界の競争激化で売り上げが低迷し、マイカル（2001年に経営破たん）から経営を引き継いだイオンリテール（本社・千葉市）は今年2月末での閉店を決定し、映画館「イオンシネマ」も閉館しました。

運営していたイオングループが跡地の利用を検討したところ、グループ内の商業ディベロッパー「イオンタウン」が複合型の商業施設を作る方針を固めました。イオンタウンは団塊世代と団塊ジュニア世代をターゲットに、全国でスーパーなどを核に複数の専門店を組み合わせた商業施設の開発を行っています。同じような形態の店は、現在丸亀市と多度津町にあります。スーパーと複数のテナント店が集まったオープンモール型のショッピングセンターで、イオングループのマックスバリュー西日本が運営しています。また、映画館については地元からの要望も多く残す方針だとしています。

6月中旬からは北側の立体駐車場を残して解体工事に着手し、核となるスーパーや専門店は今後商圈を調査して決める方針です。



取り壊しのため、周囲を壁で囲んでいるビブレ

土曜議会

平成26年第2回定例会の一般質問は、平成12年より毎年日曜議会として開催していましたが、今年は初の試みとして土曜議会に変えてみました。

また、昨年初めて「アロハ議会」として議員も職員もアロハシャツを着用しました。今年も7月開催のアロハナイトのPRのため、全議員アロハシャツを着ての土曜議会でした。昨年は一般質問の1日だけでしたがクールビズもかねて、今年は開会日から最終日までの本会議・委員会すべてアロハシャツを着ての議会を開催しました。

宇多津町議会は、議会基本条例・議会改革・また通年議会を検討するなど積極的に改革を進めています。住民に関心を持っていただけるよう、議員全員で努力してまいりますので、今後とも宇多津町議会にご意見をお寄せください。

傍聴者アンケートでは、「もう少し議員としての勉強をしてほしい」「『検討します』という答弁が多すぎる」などのご意見がありました。

傍聴者

傍聴者 20名 (今回初めて傍聴 4名)

男性 35% 女性 65%

59歳以下 25% 60歳以上 75%

休日議会の開催について

今後も続ける 32% 平日でよい 68%

また、傍聴者数も平日とあまり変わらず、傍聴に来られている方の75%は60歳代以上で、平日でもよいという意見が7割近くありました。休日議会が始まった頃とはライフスタイルもかなり変化しています。今後は休日議会について再検討し、さらにネット配信などについても考えていく必要があるのかもしれません。



出席者の質問に答える議員

5月14日に、保健センター4階で「第8回 議会報告会」が開催され、30数名が参加されました。

今回は「議会だより50号」を参考資料に、平成26年度の予算や目玉施策についての説明をした後、フリートークによる参加者の意見を聴きました。今後の町政に生かしていきたいと思っています。

参加者から出された意見

- ・ 古街の家に管理費650万円をかけて収入が200万だが、その差額は？
- ・ 水族館ができないと新都市が活性化しないのでは？
- ・ 日本総研に委託料を2年間で1,000万円近く支払っているが、その成果は？
- ・ 以前はまちづくり委員会を通して町民に報告があったが、今はどうなっているのか？
- ・ ビブレのホテルに200万円をかけたが、結果つぶれた。
- ・ 安心して住める町づくりを進めてほしい。

視察研修報告

宮城県七ヶ浜町
宮城県柴田町

七ヶ浜町の防災対策

宮城県宮城郡七ヶ浜町へ防災対策の視察研修に行きました。

七ヶ浜町は塩竈市の東隣に位置し、人口約19,000人の町。東日本大震災では、死者48名、安否不明者29名、負傷者17名の被害を出しました。

①「自主防災組織づくりについて

町内全地区を対象に平成16年度から自主防災組織の立ち上げに向け、地区ごとに行政区長を町が任命、その行政区長を中心に住民説明会や防災講演会などを開催しています。平成17年に海岸線を有する全地区を含む14地区、平成18年には16地区、平成20年には全20地区20組織が結成され、結成率100%となりました。

日常の活動としては、各地区の自主防災会が主体となっており、積極的に防災訓練などを行い、最近では会員を対象とした普通救命講習（AED含む）実施などの活動を展開しています。とりわけ震災後の訓練は、震災の経験と教訓を取り入れ工夫を凝らした訓練（安否確認旗、車に乗り合うなど）を行っています。その他、自主防災組織独自の防災マップを作り、より詳しく実情に合ったものになっています。



高台にある庁舎から見た町

震災発災時、小学校の避難場所では自主防災会役員が安否確認や役割分担などを決めたため、避難所担当職員は災害業務に専念できました。

②「住民への情報伝達」について

震災前は防災行政無線（アナログ式）でしたが、震災時に破損したため、復旧事業として災害防災無線（デジタル式）に移行しました。戸別受信機は現在517台を貸与しています。

※七ヶ浜町の自主防災組織は自治会組織になっており、区長（会長）は町長が任命しています。

柴田町におけるボランティアと連携した介護予防事業の取り組み

柴田町は仙台市から25km、面積は約54km²、人口約39,000人、高齢者人口約8,200人（全体の約2割）です。

昭和31年に槻木町と船岡町が合併し「花のまち柴田」として自然環境の中で栄えた町となり、オーブンガーデン・アジサイまつり等が開催され、特に、船岡城址公園の「一目千本桜」が日本さくら名所百選に選定されています。基幹産業は農業でしたが企業誘致を積極的に進め、工業・商業の町になっています。

柴田町地域包括支援センターが中心になり、高齢者の悩みを聞いたり相談にのったりしています。

一 地域包括ケアネットワーク連絡会（全体会議）

平成18年から各種団体（社会福祉協議会・自主研究部会・民生児童委員協議会・特養・老健・地域包括・福祉課）による代表者会議を毎月1回開催し、意見交換しています。

二 介護予防事業

① 一次予防高齢者介護

介護予防出前講座
玄米ダンベル体操



手作りの玄米ダンベル



介護予防について熱く語る担当者

三 包括支援事業

- ① 総合相談事業
- ② 権利擁護（高齢者の権利を守ること）
- ③ 包括的・継続的マネジメント事業（暮らしやすい地域）
- ④ 介護予防ケアマネジメント事業

高齢者候補者の把握

- ② 地域介護予防活動支援事業
介護予防普及サポーター支援
介護予防活動サークル支援
高齢者のランチを楽しむ会の支援
- ③ 二次予防高齢者把握事業
基本チェックリストによる二次予防

「読書科」の取り組み

東京都江戸川区
江戸川区立清新第一小学校

全国初の「読書科」が本格的に実施される

江戸川区は西に荒川・中川、東に江戸川、南は東京湾を臨み、都内にありながら水と緑豊かな環境に恵まれ、人口は約676,000人で都内23区中4番目の町です。

(内容)

本校は、平成24・25年度江戸川区教育委員会研究奨励校「読書科の推進」の指定を受け、平成26年度より区内公立校の小、中学校で年間35時間以上の「読書科」の授業が導入されました。文部科学省から特例校の認可を受けました。

- ①目的 本好きな子どもを育てる
本で学ぶ子どもを育てる
- ②目標 読書を通じて、生きて行くために必要な様々な知識・能力を身に付ける
- 一「読書科」設置について
- ①朝読書(昼読書)
25〜26時間(6〜7割分)
継続した読書→読書の習慣化
(ペア読み・グループ読み)
- ②読書活動について
- (1)読書表現活動
12時間以上(3〜4割分以上)
読書会・ブックトーク・身体表現・

ブック作り

(2) 学校図書館活用
十進分類法の定

着
各教科での活用
方法

(3) 調査・発表スキル
学習・課題把握・情報収集・
情報リテラシー
の習得

③ 学校図書館について

- (1) 読書環境チーム
- (2) 書籍チーム
- (3) 読書科イベントチーム
- (4) 読書科広報チーム

二 成果

- ① 読書科の授業を行い、目的を持って読書を行うことにより、1か月の読書冊が1.7倍に増えた。
- ② 読書に親しんでいると感じる保護者が増えた。
- ③ 教師の指導力を付け、読書の幅が広がり、進んで読書できる生徒が増えた。
- ④ 全国学力調査で、まとめる問題では正答率が全国を上回った。
子どもたちは読書習慣を身につけることによって、読書の幅を広げ、読書で得た知識や感動を人に伝える力も備わってきています。さらには、豊かな人間性を育み、学力の向上にもつながっています。



4年生の「読書科」の授業風景

「うたづ検定」を知っていますか

前回に引き続き、「うたづ検定」の問題です。一緒に宇多津町の歴史や文化などを勉強してみましよう。

本号19ページには、宇多津中学生の昨年度1級合格者も紹介しています。

問題1

明治時代以降のデザインに見られる「虫籠窓」の正しい読み方はどれですか。

- ア むしかごまど
- イ むしこまど
- ウ むしこのまど
- エ むしりゅうまど

問題2

宇多津町倉の前にある「さくら」は老朽化した町家を修復・改装して再利用しています。外観にどのような特徴が残っていますか。

- ア 2階建てであるが、建ちが低い
- イ 虫籠窓がある
- ウ 格子窓がある
- エ 通り窓がある

問題3

「源氏物語」におひなさんの起源である「ひいなあそび」が登場したが、何時代ですか。

- ア 平安時代
- イ 奈良時代
- ウ 江戸時代
- エ 明治時代

問題4

「ひいなあそび」は、子どもの遊びで()の日常生活を小さくした調度や御殿、人形で再現した。()に入る言葉を選びなさい。

- ア 大名
- イ 貴族
- ウ 商人
- エ 武士

問題5

3月3日が「ひな祭り」の日となったのは、何時代ですか。

- ア 平安時代
- イ 奈良時代
- ウ 江戸時代
- エ 明治時代

皆さん何問できましたか。答えは18ページにあります。

ようこそ、宇多津町へ

宇多津町以外に住んでいて、新しく町内に住宅を建てたり分譲マンションに住むようになった人に聞きました。

- ① 以前どこに住んでいたのか。
- ② どうして宇多津町で住むようになったのか。
- ③ 宇多津町の良いところは何か。
- ④ 宇多津町に今後期待することは何か。



(南部地区 30代)

- ① 坂出市
- ② 主人の職場から近く、気に入った住宅を見つけたから。
- ③ 子育て支援が充実している。公園がたくさんある。
- ④ 下水道など生活環境基盤が整った町になること。街灯が少なく、夜道が安全でないのを新たに設置して欲しい。レジャー施設ができること。



(浜地区 60代)

- ① 丸亀市
- ② 将来高齢になると行動範囲が狭くなるので、店が多くあり、図書館・役場・駅が近いことを考えたから。
- ③ 町がコンパクトであり行動しやすい。保健センターでの運動教室がある。公園が多い。
- ④ 浜街道・J R・企業の騒音がある。清掃してくれた後すぐに遊歩道がゴミで散らかっているのを改善してほしい。駅の前の照明が暗い。



(浜地区 40代)

- ① 善通寺市
- ② 岡山市へ転勤の話があった、交通の便の良いところであるから。
- ③ 古街の町並みや道を見ていると心が休まる。
- ④ 宇多津駅が四国の核と成るようにして欲しい。ビブレの後は何が必要か住民の声を聞いてほしい。継続性のある長期計画をして欲しい。



(南部地区 30代)

- ① 丸亀市
- ② 私の実家が近い。のどかで日あたりがよく、国道に近いから。
- ③ 店も多く、こじんまりして住みやすい。子育てがしやすい。
(ともとも・はぐはぐランド)
- ④ 南部も公園をつくってほしい。医療費の補助を現物支給にして欲しい。



昨年度の「うたづ検定 1級合格者」6人に聞きました。

全員が町内の小学校に通い、総合学習で町歩きをしており、社会科で宇多津の歴史を習っていました。「うたづ検定」の勉強はそんなにしなかったそうですが、多くは社会科や歴史の好きな中学生。全員が宇多津に住み続けたい、または仕事で他の土地に行っても老後は宇多津に帰りたいと語ってくれました。

- ① 生まれたところ
- ② 宇多津を一言で言うところ？
- ③ 宇多津の特徴的なところ
- ④ お勧めのデートスポット

- 十鳥 有希菜さん (2年)**
- ① 宇多津町
 - ② 小さい町だけど住みやすい。古い町と新しい町があるのがいい。
 - ③ 町家とおひなさん
 - ④ 臨海公園

- 尾田 由成さん (2年)**
- ① 宇多津町
 - ② 昔ながらの町
 - ③ 海ホテル
 - ④ ゴールドタワー

- 遠藤 竜太さん (3年)**
- ① 福岡市
 - ② 雰囲気良く、落ち着いた町。
 - ③ 中学生のボランテニアが盛ん。
 - ④ 臨海公園

応援しようでー宇多津っふ



- 二村 優羽さん (2年)**
- ① 宇多津町
 - ② 小さい町だけど、いろいろなスポーツがある。
 - ③ 有名なうどん店がある。
 - ④ ゴールドタワー

- 森次 碧さん (2年)**
- ① 宇多津町
 - ② お寺の多い古い町。雰囲気が落ち着いた。
 - ③ 秋祭りと神社
 - ④ 臨海公園



宇多津について熱く語ってくれる中学生



平成25年度「うたづ検定」1級合格者の皆さん

- 竹本 菜さん (2年)**
- ① 宇多津町
 - ② 居心地がいい町
 - ③ 町家とおひなさん
 - ④ 臨海公園

元 気 な な か ま ぐ り ー づ 紹 介

「笑いヨガ クラブ」

毎月第2土曜日の10時30分～11時30分まで、駅前サポートセンターで「笑いヨガ教室」を開催しています。

笑いヨガは、深呼吸を取り入れた笑いの体操で、インドの医師によって考案されました。「笑う門には福来る」ということわざの通り、笑いには様々な効能があります。例えば、血行を促進させ筋肉をリラックスさせたり、血圧を下げストレスを軽減させたり、さらには、免疫力を高め病気の発症を抑えることも確認されています。

そして、驚くことに、1分間笑うと10分間ジョギングしたのと同じ運動効果があります。笑った後は、ごろんと寝転んでリラックスタイムです。心もからだもゆったりとできるので、あちこちからスヤスヤと寝息が聞こえることも…。

「たかが笑い、されど笑い」皆さんもぜひ、笑って健康になりましょう。「笑いの輪」が広がって、「健康の輪」になることを願っております。

申し込みは不要ですので、直接サポートセンターに動きやすい服装でお越しください。



笑いながら深呼吸



講師の中村淳子さん



参加者同士の挨拶も笑いながら・・・

主な議会活動

5月

- 1日 総務建設常任委員会報告会協議
- 2日 教育民生常任委員会報告会協議
- 9日 定例議員総会
- 14日 第8回議会報告会
- 19日 中部競艇事業組合視察
- 21日 議会運営委員会
- 26日 臨時議員総会
- 30日 議員懇談会
- 6月 全員協議会
- 3日 第1回臨時議会

6月

- 3日 文化財保護協会総会
- 4日 第2回定例会
- 7日 一般質問
- 10日 広報編集会議
- 11日 本会議
- 12日 総務建設・教育民生合同委員会
- 15日 総務建設常任委員会
- 19日 教育民生常任委員会
- 19日 全員協議会・本会議
- 19日 自治会連合会防災訓練
- 19日 文化協会総会

7月

- 1日 定例議員総会
- 5日 青少年育成宇多津町民会議
- 7日 行政視察研修（七ヶ浜町）
- 8日 行政視察研修（柴田町）
- 9日 行政視察研修（江戸川区）
- 15日 議会運営委員会
- 15日 第2回臨時議会
- 15日 臨時議員総会
- 15日 広報編集会議
- 15日 広報編集会議
- 23日 大松杯総会

あとがき

第5回アロハナイトは、熱気あふれるフラダンサー達が、観る人を魅了してくれました。瀬戸内海を臨む素晴らしいロケーションは、まるでこのイベントのために用意されたかのようでした。

さて今、交流人口を増やそうと各自治体は躍起になっています。というのも、民間の研究機関が2040年までに500以上の自治体が消滅すると発表したからです。わが宇多津町が今後生き残っていくうえで、この海辺の活用がカギを握っていると言っても過言ではありません。

（表紙の写真は今年度の生涯学習講座「初めてのフラダンス教室」受講生の初舞台です。）

（N・Y）

議会広報特別委員会

- 委員長 西本 祐子
- 副委員長 柴村 賢三
- 委員 大松喜次郎
- 委員 宮本 隆
- 委員 濱中 保夫